

「エコ・ハウスたかねざわ」学習プログラム		分野	自然と遊ぶ	プログラム No	自然 9
対象	小学4年生以上	場所	教室内	所要時間	60～90分
プログラム名	マイ箸づくり				
<p>&lt;プログラムの目的&gt;(学習のねらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 木に親しみ、木の良さを知ってもらおう。</li> <li>○ 割り箸からマイ箸を使うことで、森林の大切さを知ってもらおう。</li> <li>○ 箸の歴史や箸づかいなど、箸について知るきっかけとなる。</li> </ul> <p>毎日食事の際に使われている『箸』。箸が日本に伝わったのは、弥生時代の末期のころだそうです。日本で最初に食事に箸を使ったのは、聖徳太子と言われています。毎日使う箸の歴史も調べると、箸に興味がかかります。また、一度使って、捨ててしまう『割り箸』。これも、昔は森林保護のため、国内の間伐材を有効利用して作られていましたが、外国からの安い輸入品が入るようになり、現在では逆に森林破壊の原因のひとつにもなっています。</p> <p>木に親しみ、木が持つぬくもりなどを感じながら、自分だけのマイ箸を手づくりすることで、ものを大切にする心も育てることができればと考えております。また、ナイフや紙ヤスリを使う経験もしていただけたらと思っています。</p>					

### <事前に準備するもの>

- 箸材 (22cm)  
箸材は、ある程度加工されたものを使います。材質は、ヒノキやサクラ、イチイなどが使われています。(栃木県では、県産材として、ヒノキとサクラを積極的に使用しています)
- ナイフ  
カッターナイフは、刃が簡単に折れてしまうため危険が伴います。クラフトナイフまたは切り出し小刀などを使用しましょう。
- 紙ヤスリ (#120 #400)  
荒削り用の#120と仕上げ用の#400の2種類を使います。5cm×10cm程度の大きさが1枚ずつあれば十分つくれます。
- 木片  
小さな木片に、紙ヤスリを巻いて使います。手でヤスリをかけると、熱を持ち火傷をすることもあります。
- 木板  
ナイフやヤスリ、電気ペンを使う際、テーブルを傷つけないように、板を敷きます。
- エゴマ油  
出来上がった箸にエゴマ油を塗ります。水分の吸収を防ぎ、カビなどが発生しないようにします。エゴマ油以外に、胡桃や蜜蝋なども使用できます。
- 古布  
油を塗る際に使います。
- 電熱ペン  
名前や模様を入れるために使います。
- のこぎり  
箸が長すぎる場合、短く切るために使います。
- マスク  
細かい粉塵が飛ぶため、マスクを着用してください。切り屑と細かい粉塵が発生するため、掃除機が準備できると良い。また、雑巾なども必要です。



## <マイ箸づくりを始める前に・・・>

箸づくりをする前に、以下の内容を伝えていただきたい。

- ① 割り箸は日本全体で、1年間に258億膳使われている。
  - ② 1年間で使われている割り箸で、約2万棟の家が建てられる。
  - ③ 日本で使われている割り箸の96%は輸入されており、そのうち98%が中国から輸入されている。
  - ④ 地球上で1年間に失われている森の面積は、北海道と九州の面積を足した広さです。
  - ⑤ このまま森の木を切り続けると、50年で地球上の森がなくなってしまいます。
- ※ 添付資料 a 「マイ箸づくり事業に寄せる私たちの思い・・・エコハウスたかねざわ」参照

## <手順>

- ① 箸が長い場合は、切って長さを使う人に合わせます。

※ 箸の長さは、使う人の親指と人差し指を90度（直角）に開いたとき、親指と人差し指の先端の長さの1.5倍

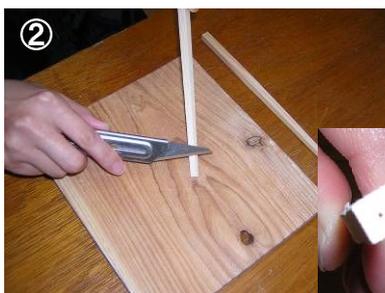
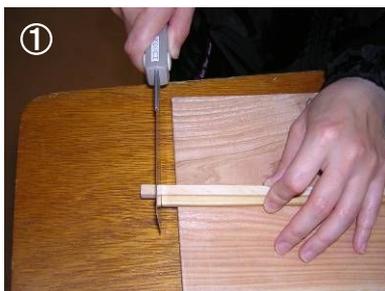
- ② 箸の先の黒丸を見ながら、均等に、ナイフで削ります。

- ③ #120の紙ヤスリで、形を整えたら、#400の紙ヤスリで、仕上げます。

- ④ 電熱ペンで、名前や模様を書きます。

- ⑤ エゴマ油を塗り、完成です。

※ 1週間ぐらい、乾かしてから使用します。



### <注意事項>

- ① 箸を削る時は、自分の手の方向にナイフを向けて削らないでください。
- ② 電熱ペンのペン先は、高温になっているため、火傷に注意してください。
- ③ ナイフは、箸の表面を滑らすように少しずつ削ってください。深く削ってしまうと失敗します。
- ④ 箸は、エゴマ油を1週間ぐらい乾燥させてから使ってください。箸を洗った後は、早めに水分を拭き取ってください。



### <箸袋>

せっかく手間をかけて「マイ箸」をつくっても、持ち歩かなければ意味がありません。箸袋も製作し、持ち歩けるようにしてください。添付資料b「箸袋のつくり方」参照



#### ○ マイ箸キット（箸材・エゴマ油）購入先

木工房 玄 〒 329-2331 栃木県塩谷郡塩谷町田所 2077-1 カーペンターワールド内  
Tel・Fax 0287-45-2007 <http://gen-woodwork.com>

#### ○ 電熱ペン

白光株式会社 ハッコーマイペン 513B-1 5000円程度  
[http://www.hakko.com/japan/products/hakko\\_mypen.html](http://www.hakko.com/japan/products/hakko_mypen.html)

#### ○ 参考文献

「つくってあそぼう[30] 箸の絵本」発行：農山漁村文化協会（農文協）



「マイ箸づくり事業」に寄せる私たちの思い・・・エコ・ハウスたかねざわ

現在、日本全体で、1年間に約258億膳の割り箸が使われております。一人当たりでは200膳の割り箸が使い捨てられていることとなります。この木材の量は、標準的な2階建て住宅の約2万棟分に相当します。

日本で1980年代前半までは、森林保護のため、間伐材の有効利用として割り箸が作られてきましたが、価格競争により、安い輸入品が増え、現在では、96%が輸入品となり、そのうち98%が中国からの輸入となっています。

外国では、木の伐採方法も間伐ではなく、皆伐方法（木を一斉に伐採する方法）をとっているため、森林破壊の原因のひとつになっています。地球の森林は、1分間に30ヘクタール失われ、年間で約14万平方キロメートル失われています。この面積は、北海道と九州を併せた面積に相当します。

木は空気を綺麗にします。木は地球温暖化の原因の二酸化炭素を少なくします。木は強い日差しや風から私たちを守ってくれます。森は動物たちの住みかとなっています。森は私たちを癒してくれます。このまま森を切り続けると、あと50年で地球上の森がなくなってしまいます。

また、割り箸には、二酸化硫黄、漂白剤、防カビ剤、防腐剤などが使われ、残留しているものもあり、健康面からも割り箸を使わないことは、身体にも優しく安全なことといえます。

エコ・ハウスたかねざわで行う「マイ箸づくり事業」では、栃木県産のヒノキ材を使い、木の感触を味わいながら、愛着を持ち、長く使っただけの「マイ箸」を丁寧につくっていただけたらと思っています。「使い捨てをやめ、物を大切に作る心」「自然や地球、そこで生きている命を大切に作る心」を育まれたらと願っています。私たちの地球、森、生物を守るため、「マイ箸」を持ち歩き、割り箸を割らないようにいただきたいと思ひます。

**1年間で  
258億膳**

日本全体で使われている  
割り箸の量

**20000棟**

日本で1年間使われて  
いる割り箸でできる家  
の数

**96%が輸入**

日本で使われている割  
り箸の輸入率  
うち98%が中国から

**北海道+九州**

地球上で1年間に失わ  
れている森の面積  
140000 km<sup>2</sup>

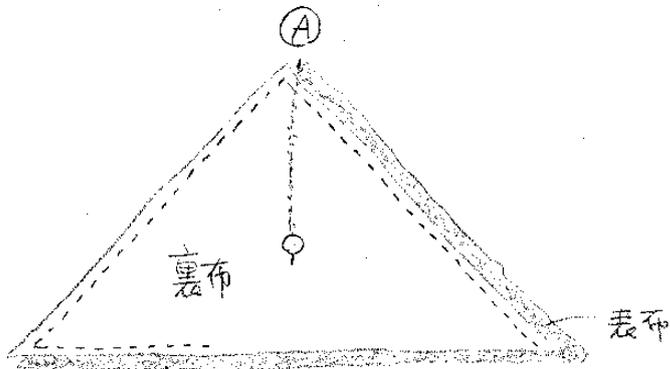
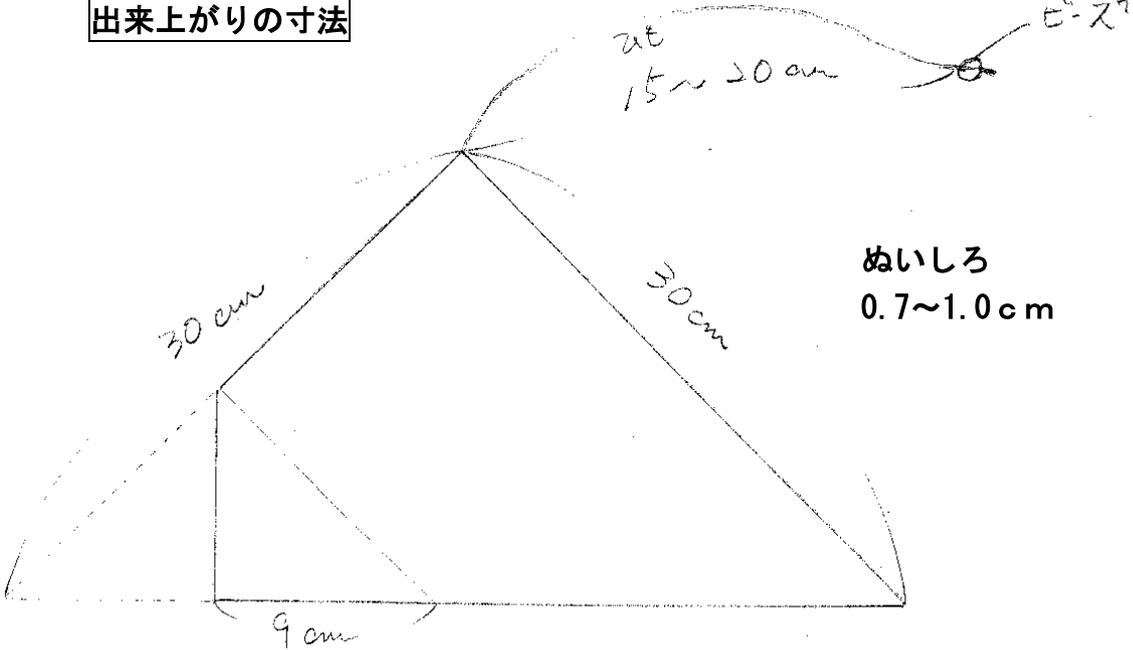


**50年**

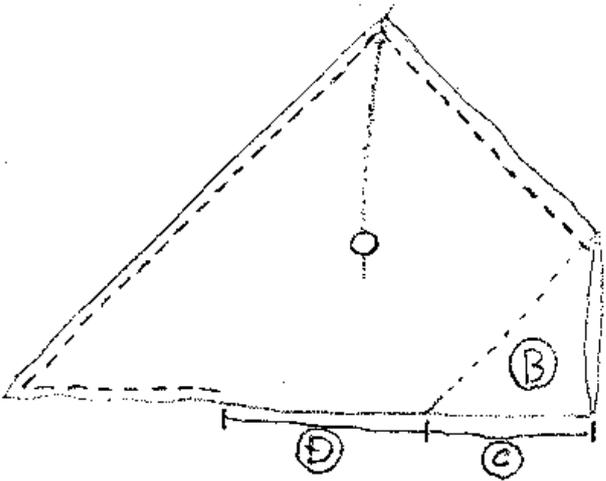
このまま森を切り続け  
ると地球上の森がなくな  
ってしまう期間

添付資料 b 箸袋のつくり方

出来上がりの寸法



<1>  
 同サイズの布を中表に合わせて  
 Aの頂点部分にひもをはさみこ  
 んで、点線の部分を縫う。



<2>  
 中表のままBの部分を内側に折  
 り込みCの部分を縫う。

<3>  
 Dの部分から表に返し、Dの部分  
 をくけ縫いする。